

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



近景



近景(自主)



遠景



遠景(自主)

平成10年度237へ冬下刈植生現況
平成10年6月1日撮影

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



遠景



遠景(自主)

平成10年度237へ冬下刈実行前



遠景(自主)

平成 1 1 年度技術開発実施報告書

様式 2-2

No. 1

課題名	人工林の適切な保育・管理施業の試験				
課題区分	自主課題	開発 箇所	楠見国有林 237へ林小班	開発 期間	平成8年度 ～ 平成12年度
当年度別実施計画			当年度実施報告		
1, 生長量調査	1, 生長量調査 ヒノキ1, 500本区 冬季下刈区調査プロット 根元径 2.8cm 樹高172cm 枝張44cm 通常下刈区調査プロット 根元径 4.1cm 樹高217cm 枝張56cm				
2, 有用樹発生調査	2, 有用樹発生調査 スギ1, 500本区にプロット設定(20m×20m) 特定樹種: ヤマザクラ・ヤマグワ・イチイガシ クスノキ・ウラジロガシ・シラカシ 各樹種とも生育良好である				
3, 工期調査	3, 工期調査 冬季下刈区 (面積1.00畝) 7°プロット内工期5.4人/畝 延雇用量6.625人 通常下刈区 7°プロット内工期4.9人/畝 (通常下刈区7°プロット内工期は、ヒノキ1.500本使用)				
4, 実施結果	4, 実施結果 冬下刈りは、造林木の切損が少なくつる上がりも少ない。枯損も少なく生長も良好である。雑灌木との競合で根曲がりも少ない。 しかし、雑灌木が通常下刈りに比べ堅い。 工期が通常下刈りに比べ高くなったのは、例年に比べ天候の関係等で通常期の草量が少なかったため通常下刈区の工期が下回ったものと考えられる。 作業面においては、最大の利点は従事者の疲労度が軽減されることであるが、蜂・マムシ等の被害もない。ただし、カラスザンショウ等の刺のある雑灌木の刈り払いには注意が必要で、保護メガネを着用すべきである。(落葉しており切断後の倒れが速い)				

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



ツブラジイ



カラスザンショウ



アカメガシワ

平成11年度237へ通常下刈植生(下刈実行後)
平成11年6月11日撮影

状況記録写真

区分 自主

森林技術センター

(様式6)



近景



ヒサカキ



イヌビワ

平成11年度237へ通常下刈植生(下刈実行後)
平成11年6月11日撮影

状況記録写真

区分	自主
----	----

森林技術センター

(様式6)



アカメガシワ



カラスザンショウ



ツブラジイ

平成11年度237へ冬下刈植生

平成11年6月15日撮影

状況記録写真

区分 自主

森林技術センター

(様式6)



イヌビワ



ヒサカキ



近景

平成11年度237へ冬下刈植生
平成11年6月15日撮影